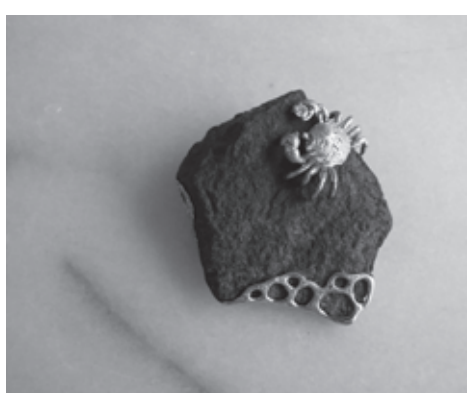


# 日本のジュエリー作家5人を集め 山口遼氏が『五人の会』を発足



宝飾史研究家の山口遼氏が、日本でユニークなジュエリーを作っている作家5名を集めた『五人の会』を、10月に発足した。

その5人は、秋場けい子氏、塩島敏彦氏、首藤治氏、長井豊氏、村松司氏。

山口氏は、「日本の

宝飾業界が、バブル経済の破綻以降、数十年にわたり低迷を続ける中で、確固たる志をもって、ジュエリー作りに取り組んでいる作家が少数ですが存在します。こうした作家は余り世に知られることはなく、その作品は独自性に富む素晴らしいものばかりです」として、この『五人の会』の取り組みによって「ジュエリーを愛好する消費者に、さらにジュエリーを楽しんでいただくことを願い、また低迷する宝飾の世界に新しい風を送ることができれば」と考え企画したという。そして、この5名の作家については、「研究熱心であり、それぞれがユニークなアイデアと確固たる技術を持ち、精緻でありながら面白さと大胆さを

併せ持つという従来のジュエリーには見られない作品を生み出しています。しかし、こうした優れた作家たちは、大概慎重で、謙虚であり、あまり知られようとは思っていません。また、彼らが制作できる数量は自ずと限界があり、単独での催事には向いていません」と語る。

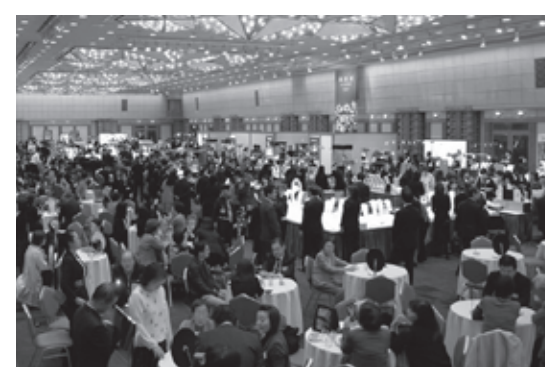
そこで「この5名の作家たちの作品を、一人20〜30点集めて、それを一堂に展示して多くの消費者にご覧いただき販売する機会を、今後全国の優れた宝飾品販売店で開設していく企画です」と説明し、この『五人の会』の活動が、日本が誇るジュエリー作家とその品格ある作品を世に知らしめる機会となり、また多くの消費者に楽しんでもらうことができることを願うとした。

この件に関する問い合わせは、Jewelry Office YT 利重由紀子代表まで(t-yukko@terra.dti.ne.jp/090-3317-8156)。

ジュエリーの総合メーカー(株)ナガホリ(本社:東京・長堀慶太社長)秋の消費者展『創美展2019AUTUMN』が10月25・26日、東京・日比谷の帝国ホテルで催され、同社関東圏の取引先1400名が来場、2020年に閉山予定のアーガイル産ピンクダイヤモンドの高額商品2点の販売とクロズアップした「エメラルド企画」が百貨店や専門店から高評価され、更に店舗イベントへの出展も数多くオファーがある等、二日間10億円を売り上げた。

今回の見どころは、採掘量が減少しており2020年には閉山見込みとなっているオーストラリアのアーガイル鉱山で2016年に採掘された「アーガイルピンクダイヤモンド(予価:9千万円〜2

## 高額品2点含め10億円を売り上げる ナガホリ『創美展2019AUTUMN』



億円)他、多数のルース、リング、ペンダントが出展され、その中の2点が販売され、好結果を生んでいる。

創美展のフラッグシップブランド「NADIA」からは、NADIAだけが使用できる12角型117面体のポールスター117ダイヤモンドを使用、細かいディテールまでこだわり抜いたリング(280

万円〜440万円)、パビリオン側に68面体を施すことによりシンチレーションが細かく強く出ている。このポールスターのコレクションをメインにハイジュエリーの数々を展示、購買意欲を誘っていた。

更には、コロンビア、ザンビア、ブラジル、エチオピアのエメラルド世界4大産地それぞれのエメラルドの特徴や魅力を、ルースと商品の展示で訴求する「エメラルド特集」を展開、好評を博していた。

自然科学理論によるより正確なエンハンスメント鑑別書

宝石学術協会の会員(AGK)

**日本宝石科学協会**

〒110-0005 東京都台東区上野5-22-1 井上ビル4F  
TEL:03-3836-2507 FAX:03-3836-2689

## ジュエリー国際恒例の「秋の新作展」

(株)ジュエリー国際(本社:東京、下倉隆社長)恒例の「秋の新作展」が10月29日、東京・品川ザランドマークスクエアアトリウムで開催され、同社取引先多数が来場、ライトテイストの新作ジュエリー他、定番のロングネックレスやコンパチブル、ネックレス、空枠などの商材が年々必要に迫って仕入れられていた。

この新作展は、同社の取引先販売店の年末の最盛期に向けた仕入れ会で、今回も同社のメインシリーズである「風華」、「月華」等の新作多数が披露された。



「風華」からは、一つの旋律が繰り返され、重ねられていくことで生まれる軽やかさ、そして立体感あるネックレスとピアス等、上質な南洋真珠を主役に、ダイヤモンドが織りなすミカルな輝きが、ひととき美しい気品あふれる新作が(写真:左)。「月華」からは、ライトテイストの大小様々なペーパーとダイヤモンドをリズムカルに散りばめたペンダント、イヤリング、リングの新作が発表された。

神戸展は、11月7日(本曜日)10:00〜15:00)生田神社会館3階で開催される。



## 「ピンチがチャンス」という言葉を実感 奇跡的な逆転劇が生まれ、大幅に上回る 売上高3億6900万円を達成

(株)丸善(大阪市中央区、井本雅仁社長)が主催する「いちごジュエリーフェスティバル」は、10月12日から3日間、例年通り大阪・ハービスホールで開催されたが、会期初日は台風19号の影響により、集客数が見込み数の1/4程度となり、売上も1/3と厳しいスタートをきった。

井本社長は「消費税アップ後という逆風もあって、企画を増やし身構えていたものの、それどころではないダメージになってしまいました」と初日を振り返った。「ただ、2日目からは気持ちを切り替え、「単価アップ」をスローガンに、各コーナーのスタッフがひとりひとりのお客様に、丁寧に商品を勧めさせていただきました。その結果、劇的な単価アップにつながり、後半の2日間で初日の売上げをカバーすることができ

ました。最終日には高額商品の決定が予想を遥かに上回り、奇跡的な逆転劇が生まれ、予算を大幅に上回るという実績を残すことができました」と笑顔を見せた。

そして「これも小売店様のがんばりがあってのことです。初日にイベントを予定していたマーギー審司さんのステージも新幹線が止まり中止となりました。大変なご迷惑をお掛けすることになりましたが、状況を理解し温かい励ましの言葉もいただきましたと補足し、いちごのコンセプトである「一緒に作り上げる」を実感する機会になったと語った。

結果として、来場者数は998名の前年比64.1%。参加小売店は113社。売上高は3億6900万円と前年比130.3%。売上単価は54万895円の前年比142%。買上率68.5%で前年比108.2%となった。

最後は「今回のいちごを通じて、「ピンチがチャンス」という言葉をあらためて実感しました。皆様の実績を作るといふ強い執念に驚いている次第です。これからもそのエネルギーをパワーと粘り強さを継続していけるようないちごを続けていきたいと思います」と話した。

## 「小規模催事」による「コト消費」 変化を感じる1日に

海外ブランドは自社で輸入している「レオピッツォ」「アントニオパビーニ」を中心に4ブランドを展開。国内ブランドは自社の「ウインザー」「NOBUKO/ISHIKAWA」「SOKO(珊瑚作家)」など6ブランドに、取蔵作家を含めて展開した。

コンセプトは「コト消費」。担当者は「沢山のお客様に来場いただく為の大箱催事ではなく、1人のお客様に1人の販売員がご案内し、お食事を楽しんで



10月17日、東京駅八重洲口にあるアンジェロコート東京において、栄光時計(株)東京支店主催の展示会「プレシャスタイム東京」が開催された。

小規模催事ではあるが、商品構成は深みのある内容で、高級感と特別感が溢れていた。

いただくフルアテンド対応による展示会」と説明。増税後で消費意欲が下がっている時だからこそ、拘りの商品群とおもてなし



を充実させた展示会は、東京駅から徒歩2分の好立地な条件もプラスとなり、終日盛況となった。

さらに、「展示会は麻薬です。麻薬を打ち続けている事が宝飾業界の一番の発展しない理由ですが、今回は増税後だからこそ逆の発想で、8年ぶりに都内での展示会を企画させていただきました」と続け、「ご理解いただけるお客様だけの参加で十分だと思いますし、今回は何器や雰囲気など『魅せるブランド』の仕事ができ、お客様・販売店様・スタッフの宝石販売に対する考え方が、少し変化したと感じた1日でした」との感想を加えた。

## 「アヒマディ博士を講師に」 宝石の最新情報と原産地情報

12月7日 大阪 Jeweller's Study Club

宝石を自然から生まれた美しい鉱物結晶として解説している「アヒマディ博士の宝石学」の著者、阿依アヒマディ氏を講師に、「宝石の最新情報と原産地情報」をテーマとした講演会が、12月7日、大阪産業創造館で開催される。時間は15時〜17時。主催しているのは、真のジュエラーの姿を追い求め専門知識を相互教育により高めることを目的としているJeweller's Study Club。「アヒマディ博士の宝石学」では、最も理解すべき鉱物結晶学的な知識や、宝

石学的な特性、成長要因と産状、そして、世界の名産地を多くの写真を使って紹介。さらに宝石名の由来や歴史、処理の有無、品質や選び方などについてもまとめ、大自然から誕生した宝石の原石の姿をそのまま伝えていく。また、宝石がどのような場所で採れているのか、鉱山の姿や採掘の様子なども解説。アヒマディ氏の長年の研究成果であり、その成果を直接開けるまたない機会が提供される。

先着30名。受講料2500円(会員外5000円)。持参品「アヒマディ博士の宝石学」(当日会場販売あり/特別価格2500円)。申込み・問合せは、松室明雄氏まで(gem@matsumuro.com/TEL.072-331-1500)。

## HAKKOがエヌジェと合併 営業力の強化へ

営業力の強化、市場環境の変化に合わせた事業の選択と集中を目的として、(株)エヌジェと(株)HAKKOインターナショナルとの、2020年1月1日付での合併が発表された。

新生エヌジェは、宝飾貴金属の製造・卸販売、宝飾品輸入・輸入代理店業を行う。資本金は1億円。代表取締役会長は桑山貴洋氏、取締役社長は比護博幸氏。本社所在地=東京都台東区東上野2-10-13。広島支店所在地=広島県広島市中区袋町5-13。

11月8日〜10日まで、東京都千代田区の手町サンケイプラザ3階にて、「第17回東京コインショー」が開催される。普段一般の目に触れることのない、世界中の稀少な貨幣・紙幣が一堂に集まる展示即売会となる。

即位礼正殿の儀、ラグビーワールドカップ2019など、貨幣収集の上でも大きな出来事が続いている。来年の東京2020オリンピック・パラリンピックに向けても記念硬貨の発行が続く、コイン収集が国民に大きく浸透しているという。主催する日本貨幣協同組合の加盟店35社が出店する。先着100名に穴ナシ5円黄銅貨をプレゼントする。また、無料鑑定買い受け相談も。

## 国内市場の大切さも実感か 賑わいを見せたIJT秋

クリスマス・年末商戦に向けた最適な時期として、10月23日〜25日、パシフィック横浜にて開催された「国際宝飾展 秋(IJT秋)」(主催:リードエグジビジョンジャパン(株))は、初日から海外からのバイヤーを中心に積極的な商談・仕入れの姿が目立ち、会場内の活気も3日間通して続き、厳しい市場状況が続く中においては、明るい兆しが見える賑わいとなった。主催者発表による来場者数は、9284人。

パシフィック横浜の会場レイアウトはわかりやすい。レイアウト図を見て、一番右に大きく「パール」。センター下半分に製品を集めた「ジュエリー」を設置。その中に「ライトジュエリー」を加え、センター上半分は「ジェムストーン」と「宝飾関連製品/催事商材」。一番左には、多くの人を集める「リ・ジュエリー」と「デザイナー/クラフトマン」とし、カテゴリーが細かく分かれていることが、来場者にとって有難い構成だ。積

## 賑わいを見せたIJT秋



極的な小売店は限なく商材探しに歩き回っている。宝飾展は「仕入れの場」が優先となるものの、新しい提案やヒラメキを与えられる提案力が求められているようにも思われ、「コト消費」という新しい時代に合ったからは、商材の提供だけではなくアイデアやサービスといった提案力によって、取引を長く継続させ、相互的なプラスに転換していくことが産業全体の発展にもつながるだろう。

日本宝飾記者会が主催する「第3回 東日本ジュエリーショップ大賞表彰式」が、会期初日に開催され、表彰され

た国内市場の活性化に長けた小売店3店によるパネルディスカッションには、そのアイデアや情報を聞きに多くの関係者が集った。受賞店舗は、経営革新部門=ベルティール山形店、地域密着部門=マエバラ、新規集客部門=ジュエルはま木更津店。これまでも受賞店各社は、受賞店であることを店頭などでPRするなど、同大賞の目的でも「国内市場の活性化」の趣旨を理解している印象が強い。今回の受賞者であるマエバラに至っては、青森放送のテレビのニュースでも取り上げられたということで、小さなイベントながらも大きな話題性へとつながった例だといえる。

出展社の声としては、「思った以上に国内バイヤーが多い」「3日目も賑わった」「9月香港で取引できなかった中国人が来てくれた」「海

外バイヤーの買いは弱い」「単価が低い」「国内にも力を入れることも考えた」など様々。来年は「ジャンジュエリーフェア」が同じ10月に開催され、両方出るとか、片方に絞るとか、または香港だけかなど、宝飾産業としても大きな影響が懸念される問題となっている。

国内市場の活性化も考えた。

今後の予定としては、2020年1月20日〜23日に東京で、IJT。5月14日〜16日に神戸で、IJK。10月28日〜30日に横浜で、IJT秋を予定する。

Woody Bell (ウッディー ベル)

修理・リフォーム 時計彫りなど

特殊な修理を得意とする

〜WOODY BELL〜

株式会社 Woody Bell (ウッディー ベル)

東京都台東区東上野2-10-2第5政武ビル3階  
TEL 03-5688-2390

http://woodybell-j.com/  
e-mail: woodybell12@gmail.com

ホットがお届けするプライダジュエリー

GERSTNER The ring for life

150年余りの長い歴史をもつドイツの老舗ジュエリーメーカー

eduard G. fidel

ドイツの革新的なジュエリーメーカー エドワード・ジー・フィデル

株式会社 ホット ウォッチ&ジュエリー事業部  
〒104-0061 東京都中央区銀座7-13-10 2F TEL.03-6226-4713

GOOD DESIGN 2019 受賞

修理から入る1・モデルビジネスで年商7,000万円

1. モデルプランナー育成セミナー  
2. 集客ノウハウ研修  
3. 出店サポート  
4. リフォームショップ運営サポート

美しいクラス Nクラス -2017年度受賞-

ピアスを守る Original Gel クリスマスキャッチ -2016年度受賞-

(お問い合わせ) TEL:03-5688-6081 メール: info@ecmis.jp  
株式会社 エクス 住所: 東京都台東区東上野1-20-4第一日世ビル URL: http://www.ecmis.jp

Diamond & Pearl オリジナルジュエリー

☆ 南洋・タヒチ 製品  
☆ ダイヤモンド 製品  
☆ デザイン・加工

株式会社 エステート

〒110-0005 東京都台東区東上野5-18-9  
TEL 03-3831-2530 FAX 03-3832-3354  
estate@kha.biglobe.ne.jp

CÔLIN JAPAN

美の系譜 コーリン・ジャパン

"CÔLIN JAPAN"は、今、あらためて海外に誇る日本人の美意識から生まれるジャンジュエリーです

株式会社 HAKKOインターナショナル  
〒730-0036 広島市中区袋町5-13 TEL (082) 244-4444